

3学年部会の様子

【3学年部会で大切にしたいこと】

子どもと教材、子ども同士がつながる

【研究の方向性】

- ・子どもと教材、子ども同士がつながる授業
- ・「つながり」とは
子どもと子ども・子どもと授業者
子どもと教材(ひと・もの・こと)
- ・単元づくりのポイント【視点②】
⇒自分自身とのかかわりから学習内容を捉えられようにする。
子どもの生活経験と学習内容を結びつける。
- ・授業づくりのポイント【視点③】
⇒根拠を明確に考えたり、説明したりする場を大切にする。
子どもの主体的な学びを支えるために、教師が指導性を適切に発揮する。

【グループ協議】

グループ協議で出てきたキーワード

- ・子ども...経験(生活経験・共通経験)、地域性
- ・教師 ...みとり、資料提示
- ・話し合い...共通点・相違点、ずれ
⇒共通の資料や体験を土台にして、一人ひとりの経験や知識を交流させることによって、
子ども同士がつながり、学びが深まるのでは。
⇒そのために教師は適切に指導性を発揮する。
(子どものみとり、資料提示、支援など)

【担当校長先生より】

- ・子どもと子どもがつながることは大切。
- ・子どもが何を話せばいいか分かるように、話し合いを焦点化していく必要がある。
- ・クラスの実態に合った手立てを考えていくことが大切。